

五戸総合病院での地域研修を終えて

順天堂大学医学部附属浦安病院

初期臨床研修医 2年 渡辺康太

五戸総合病院での1ヶ月は普段の研修では得られない学びが多く、毎日が刺激的に感じられる日々でした。五戸町という地域に根ざした診療体制に加え、八戸市や十和田市などとの医療連携など、正に地域医療の実際を目の当たりにし、また診療の一端を担えたことはかけがいのない経験です。

病棟管理は入院決定から退院調整まで全てを担当させて頂きました。普段の診療では自分の一存で行える範囲に限りがあり、全てを一任させて頂くことが無かったのでとても勉強になりました。自宅にも施設にも退院しづらい状況の患者さんや、入院時からすでに状態が悪く緩和ケアをメインで行う必要のある患者さんなど多種多様な患者さんを診させて頂きました。普段自分が経験していない分、悩むことや苦労も多く、入院管理の困難さをしみじみと実感しました。しかし悩みながらも診療を全うできたことは今後の大きな糧になると思います。

また、外来診療では定期受診から初診まで幅広く経験させて頂きました。ただの定期受診一つとっても、データが徐々に増悪していたり、急に体調を崩してしまったりと対応に困る患者さんも多く、内服調整の難しさを実感することとなりました。限られた時

間の中で必要な項目を抽出して患者さんに伝えた上で治療を考えることがいかに大事なテクニックかを学ぶことができました。

内視鏡検査や手術等も積極的に参加させて頂くことで多くの経験を積むことができました。技術の習得のために自己学習し、拙いながらも実践していくことで自分の不足している部分を体感することができ、今後の医師生活の目標を得ることとなりました。

病院での業務以外では訪問診療や検案などに携わらせて頂きました。実際に患者さんの自宅や施設にお邪魔させて頂き、そこで診療を行ったのですが、行えることに制限が多く、限られた資源・医療機会の中でやりくりする能力が必要だと学びました。月に一回でも患者さんの様子を見ることは、一見不必要なことに思えるのですが、それでも患者さんに安心を与えられる点で必要なことなのだろうと思いました。

また、業務以外でも五戸町を堪能することができたことも非常に良い時間だったと思います。休日には五戸名物の馬肉やシャモロックを食べ、安比高原でのゴルフを楽しみ、函館で海鮮に舌鼓を打ち、業務終了後にはコメディカルの皆さんと麻雀を打つ経験もできました。こうした一人一人の距離感がいい意味で近いというのは、都会で過ごしては得難いものであり、私が五戸町での生活を非常に楽しく過ごすことができた一因であったなと考えています。

最後にはなりますが、このような機会を与えていただいた五戸総合病院の皆様方には

誠に感謝を申し上げます。院長をはじめとして、病棟・外来の看護師さん、薬剤師さん、検査技師さんから事務さんに至るまで、1ヶ月間多くのご助力をいただきなんとか業務を行うことができました。勝手にわからず困惑している私に優しく声をかけてくれた皆さまのおかげでとても充実した1ヶ月を過ごすことができました。今回得た経験を忘れず、明日からの診療に生かしていきたいと思います。また、機会がありましたら五戸町に寄らせて頂きます。1ヶ月間本当にありがとうございました。